

(公社)日本雪氷学会東北支部

ニュースレター No.65

2016年度東北支部大会の開催案内

2016年度(公社)日本雪氷学会東北支部大会(理事会, 総会, 研究発表会)を, 東北大学理学部(青葉山北キャンパス)にて下記の予定で開催いたします。今年の大会も昨年と同様に, 日本雪工学会北東北支部との合同開催となります。皆様のご参加ならびに研究発表をよろしくご願ひ申し上げます。今回, 研究発表プログラムについてお知らせしますので発表予定者はご確認下さい。

開催日時: 2016年5月13日(金), 14日(土)

開催場所: 東北大学大学院理学研究科・理学部(青葉山北キャンパス)

合同C棟2階 青葉サイエンスホール(総会, 特別講演会, 研究発表会)

合同C棟4階 会議室S406(理事会, 雪工学会総会)

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号

<http://www.sci.tohoku.ac.jp/access/>

主催: 日本雪氷学会東北支部

共催: 日本雪工学会北東北支部

発表方法: 発表は口頭発表です。発表時間は質疑応答を含めて1件15分です。会場にプロジェクターとパソコン(Windows 7, PowerPoint2010)を用意しますので, 発表者はあらかじめUSBメモリ等からパソコンのハードディスクにプレゼンテーションファイルをコピーしておいて下さい。なお, Mac/Linuxユーザーまたはコピーに適さない動画などをご利用の場合は, ご自身で発表用のパソコンを準備して, 画像信号のケーブルを繋ぎ換えることにより発表を行って下さい。

参加費(講演資料代を含む): 学会員 1,000円, 非会員 2,000円

(学生の場合, 会員・非会員を問わず 1,000円)

情報交換会: 会場 「こちらまる特漁業部」仙台駅前AKビル店 仙台市青葉区中央1-8-38 AKビル7F

会費 4,000円(予定) 電話: 022-265-4333

<http://r.gnavi.co.jp/t059106/>

スケジュール

第1日目: 5月13日(金)

【雪氷学会東北支部】

9:15~10:45 理事会

11:00~12:15 総会, 授賞式

【雪工学会北東北支部】

12:20~13:20 総会

【以下, 両学会支部合同】

13:30~14:30 特別講演会

「極域の寒気の生成・流出・消滅について」

講師 岩崎俊樹氏(東北大学大学院理学研究科 教授)

14:50~17:15 研究発表会

18:30~20:30 情報交換会 (こちらまる特漁業部 仙台駅前AKビル店)

第2日目: 5月14日(土)

9:30~12:40 研究発表会

<研究発表プログラム>

第1日目：5月13日（金）

14:50-16:05 雪溪・氷河・雪崩・積雪Ⅰ・教育

座長：根本征樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

1. 鳥海山南東斜面の雪溪の長期変動観測（1979～2015年）
○阿部 修（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
2. ボリビア熱帯氷河の縮小が貯水池集水域の水資源運用に及ぼす影響評価
○船木翔太（日本大学大学院工学研究科）・朝岡良浩（日本大学工学部）・木内 豪（東京工業大学大学院総合理工学研究科）
3. 雪崩発生現場における応急対策に関する一考察
○阿部孝幸（神鋼建材工業株式会社）
4. 木製斜面上の新積雪形状に関する屋外実験
○後藤 博（秋田雪の会）
5. 北海道における土壌凍結深の測定を通じたアウトリーチ活動
○原田鉦一郎（宮城大学食産業学部）・吉川謙二・岩花剛（アラスカ大学フェアバンクス校）・Julia STANILOVSKAYA（ロシア科学アカデミーセルゲーエフ地球科学研究所）・澤田結基（福山市立大学）・曾根敏雄（北海道大学低温科学研究所）

<休憩 10分>

16:15-17:15 山岳雪氷

座長：石田祐宣（弘前大学大学院理工学研究科）

6. 蔵王の山頂付近の気温の変化について
渡邊鴻也（山形大学理学部）・○柳澤文孝（山形大学学術研究院）
7. 蔵王の樹氷の水の起源について
保坂翼・的場浩輔（山形大学大学院理工学研究科）・○柳澤文孝（山形大学学術研究院）・赤田尚史（核融合科学研究所・総合研究大学院大学）・本谷 研（秋田大学教育文化学部）
8. 山形蔵王における雪氷現象の観測（平成27年度）
○沖田圭右・山谷 睦・沼澤喜一・小林英則・原田俊明（日本地下水開発株式会社）
9. 第28回八甲田山雪質調査
○佐々木幹夫（八戸工業大学）・長尾昌朋（足利工業大学）・岩渕巧・熊谷洋（東北電力株式会社）・南 将人（八戸高専）・荻原英子（香川調理製菓専門学校）・大坪秀一（八戸市役所）・村岡真怜（株式会社ユアテック）

第2日目：5月14日（土）

9:30-10:30 積雪Ⅱ・融雪

座長：本谷 研（秋田大学教育文化学部）

10. 山形県内の積雪荷重推定のための積雪全層平均密度
○阿部 修・小杉健二（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
11. 平成28年（2015/2016年）冬期における新庄の積雪変化について
○小杉健二・佐藤研吾・安達 聖・根本征樹・阿部 修（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
12. 地中熱ヒートポンプ方式による歩道消雪施設の稼働状況（平成27年度）
○服部恭典・稲毛重之・沼澤喜一（日本地下水開発株式会社）
13. 気候変動が融雪出水に及ぼす影響の確率的評価
○朝岡良浩（日本大学工学部）

10:30-11:30 降雪・積雪Ⅲ・計測

座長：佐藤研吾（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

14. 福島県北部に出現する地形性降雪雲の形成
○渡邊 明（福島大学共生システム理工学類）
15. 青森県西部の地形が青森市・弘前市の降雪に与える影響
○高橋采伽・猪股南・石田祐宣（弘前大学大学院理工学研究科）
16. 東北地方（秋田県周辺）における2015-16冬季の降積雪の特徴
○本谷 研（秋田大学教育文化学部）
17. 積雪観測のためのマルチコプター空撮技術
-2015/2016年冬季の福島県西会津国道49号線道路法面の事例研究-
○金 高義（福島工業高等専門学校）・内山庄一郎（防災科学技術研究所）

<休憩 10分>

11:40-12:40 吹雪・着雪

座長：朝岡良浩（日本大学工学部）

18. 秋田県北国道7号線沿いにおける吹雪発生条件の検討（その2）
安井ゆい（秋田県仙北地域振興局）・○本谷 研（秋田大学教育文化学部）
19. 防雪柵周辺における非平衡状態の吹きだまり形成過程について
○根本征樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）・鳥田宏行（北海道立総合研究機構林業試験場道南支場）
20. 着雪現象解明のための単純形状部材を用いた観測
○佐藤研吾・小杉健二（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
21. 着雪による換気口の閉塞に関する実験的研究
○松村光太郎（岩手県立大学）・林 基哉（国立保健医療科学院）・小杉健二・佐藤研吾・望月重人（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

＜総会・特別講演会・研究発表会 会場案内＞

会場：

東北大学大学院理学研究科・理学部（青葉山北キャンパス）
合同C棟2階 青葉サイエンスホール（総会，特別講演会，研究発表会）
合同C棟4階 会議室S406（理事会，雪工学会総会）

〒980-8578
仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
<http://www.sci.tohoku.ac.jp/access/>

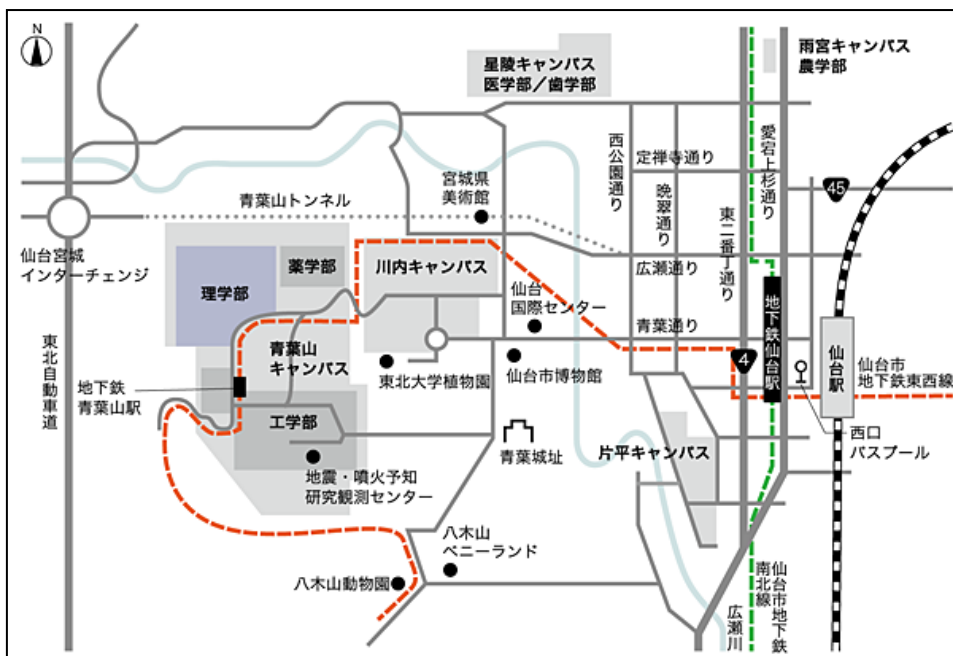
交通案内：

○JR仙台駅

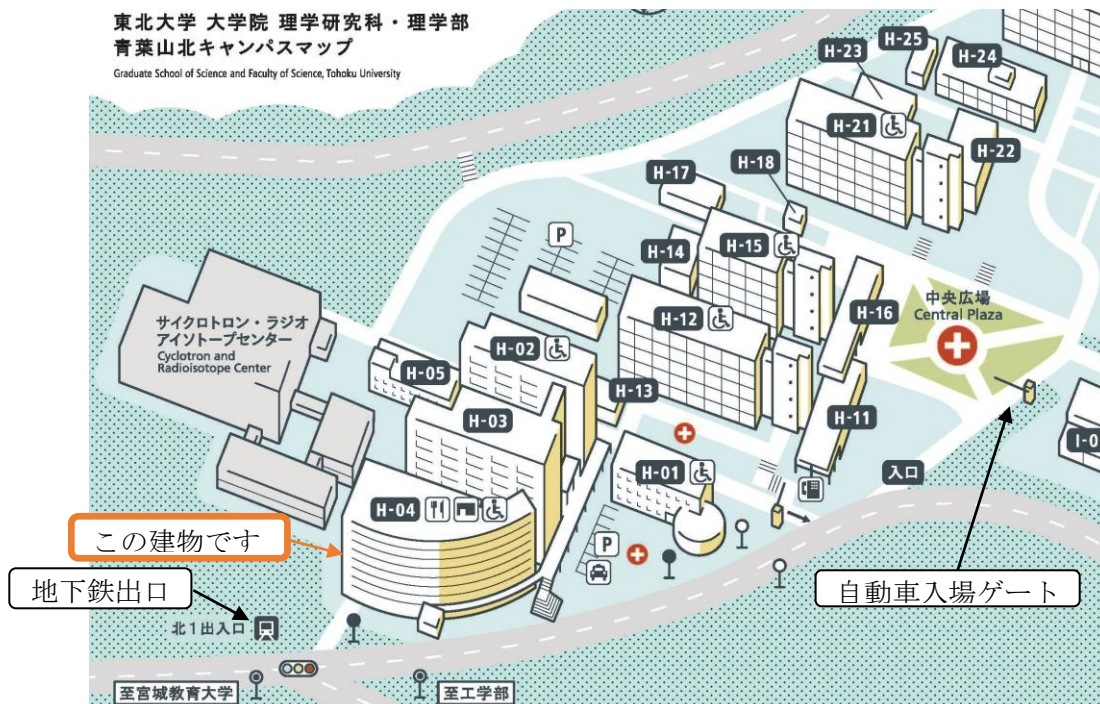
地下鉄東西線に乗り換え「八木山動物公園行き」にて9分，「青葉山駅」下車
北1出入口より徒歩2分（出口から左手へ進みすぐの丸みを帯びた壁面の建物です。なお，セブン
イレブンのあるフロアが2階です。）

駐車場について：

下図右側の入口より坂を上り，ゲートのインターホンで来訪目的を告げて入場ください。



東北大学 大学院 理学研究科・理学部
青葉山北キャンパスマップ
Graduate School of Science and Faculty of Science, Tohoku University



発表者の皆様へ

「東北の雪と生活」 本原稿の提出：

- ・ 提出期限 6月10日(金)
- ・ 本原稿は「東北の雪と生活」に掲載されます。A4版 camera ready, 6ページ以内で作成してください。投稿原稿のフォーマット, 投稿規程は支部 web サイトをご参照ください (http://www.seppyo.org/~tohoku/journal_kiyaku.htm)。原稿の種類(論文, 報告, 解説, 資料, その他)を必ず明記してください。講演要旨と同様に, 電子メールにて pdf ファイルで提出してください。
- ・ 誌上発表のみも受け付けます。本原稿を投稿する際には, 誌上発表のみである旨を明記下さい。
- ・ 今回から自筆署名を行った著作権譲渡承諾書の提出も同時に必要です。雛形は支部 web サイトをご参照ください。

本原稿の提出先：弘前大学大学院理工学研究科 石田 祐宣

E-mail: ishida@hirosaki-u.ac.jp

発行：(公社)日本雪氷学会東北支部事務局

発行責任者：松村光太郎

〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52

岩手県立大学 盛岡短期大学部 気付

電話：019-694-2940 FAX：019-694-2901